

協働テーマ

混雑情報等のタイムリーな情報の発信により、
銭湯の魅力向上・来店者の増加につなげたい！

■ 現場課題

課題詳細

都内公衆浴場が減少しており、入浴機会の提供や地域の交流拠点としての観点から、公衆浴場の維持が課題となっている。

課題解決による
想定成果・効果

公衆浴場の利用状況を簡易に把握できる仕組みを構築し、利用状況発信による利用者の利便性の向上（混雑回避等）と浴場オーナーに対する今後の支援策の方針検討のための基盤を提供する。

■ プロジェクト概要

課題に対する
ソリューション

AIカメラやIoTデバイスを用いて施設の利用状況を適時に把握及び発信できるソリューションの提供。

協働
プロジェクト
内容

都内8浴場にAIカメラ及びIoTデバイスを設置し、各浴場の時間単位の利用状況を把握できる仕組みを構築。また、それらのデータを収集、蓄積、解析、可視化するシステムを開発し、公衆浴場の利用者に向けて平常時とリアルタイムの利用状況に関する情報配信を実施。効果検証は、利用者及びオーナー向けアンケートにて行う。

成果

- ①利用状況を日別・時間別で把握し、浴場ごとの動向分析が可能となった。
- ②利用状況をリアルタイムでグラフ表示・確認できるようになった。
- ③利用者側で利用状況の発信を望む声が多く、オーナーは販促活動への応用もできる点を評価したことを、アンケートから確認した。

